



## 工学部長記者懇談会(3月)

日時:3月13日(木) 10:30~12:00 中示範C教室

### 【発表事項】

(1)10:30~10:50

ひらめき☆研究ライフ

～バイオ分子によるブロック遊び～

発表者:学術研究院 准教授 <sup>たかだ</sup> <sup>けんじ</sup> 高田 健司(高分子材料)

(2)10:50~11:10

伊藤浩志教授が米国プラスチック技術者協会(Society of Plastic Engineers)より  
フェローの称号を授与されました！

伊藤浩志教授が令和6年度山形県卓越技能者等表彰を授与されました！

発表者:学術研究院 教授 <sup>いとう</sup> <sup>ひろし</sup> 伊藤 浩志(大学院有機材料システム研究科長/高分子材料)

(3)11:10~11:30

スノーボード競技への挑戦

～更なる高みへ～

発表者:機械システム工学科 2年 <sup>たかなし</sup> <sup>まさよし</sup> 高梨 晟嘉

(4)11:30~11:50

食堂がリニューアルオープンいたします

～素早く温かい食事と憩いの空間を提供します～

発表者:山形大学生生活協同組合 <sup>きつや</sup> <sup>はじめ</sup> 木津谷 甫

### 【通知事項】

(5)11:50~11:55

古川研究室が大阪・関西万博にてシグネチャーパビリオン「EARTH MART」へ出展します！

(6)11:55~12:00

令和6年度山形大学学位記授与式(米沢地区)について

～令和7年3月20日(木)11時開式～

(7)12:00~12:05

令和7年度工学部長記者懇談会日程について

【次回開催予定】

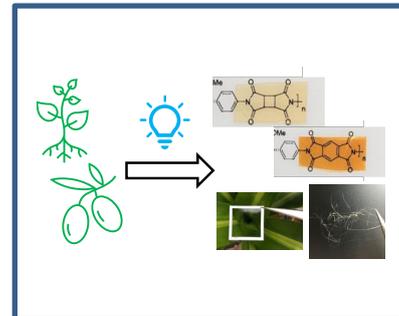
4月10日(木) 10:30~12:00(100周年記念会館)

令和7年（2025年）3月13日

## ひらめき☆研究ライフ ～バイオ分子によるブロック遊び～

### 【本件のポイント】

- バイオ生産された物質を用いることで高性能な（高耐熱性、高強度）プラスチックを開発している。
- バイオ由来で得られる特徴的な物質を活かした材料の開発を進めている。
- 既存の耐熱性や強度に優れた材料のバイオプラスチック代替に向け、研究が加速することが期待される。デバイス、自動車、宇宙航空産業分野での応用が期待される。



### 【概要】

近年、大気中の二酸化炭素濃度の増加や化石資源への依存を減らすため、天然資源や生物由来の材料開発が進められています。しかし、従来のバイオプラスチックは生分解性や柔軟性を持つ一方で、耐熱性や強度に課題がありました。当研究室では、高耐熱・高強度を兼ね備えたバイオプラスチックの開発を目指し、特殊な微生物により得られた桂皮酸誘導体から高性能バイオプラスチックを得ることに成功しました。これまで耐熱性に優れ、水溶化も可能なポリイミドや高強度なポリアミドについて取り組んできました。これらの成果は論文発表や展示会などで発信し、実用化を推進しています。今後は、バイオ由来の特性を活かした新機能材料の開発を進め、バイオプラスチックの普及と二酸化炭素削減に貢献していきます。

### 【背景】

大気中の二酸化炭素濃度の増大の影響および化石資源に依存した材料開発からの脱却のため、天然や生物から得られる材料の開発はここ20年盛んに研究が行われてきました。これまで社会に実装されてきたバイオ由来プラスチックは「天然、生物」から想像できるように、柔らかい、生分解性、などの性質を示しますが、これらの性質は逆に耐熱性、強度に劣るとも言えます。

### 【研究手法・研究成果】

当研究室では上記の背景から高耐熱、高強度に優れた高性能バイオプラスチックの開発を達成するための研究を行っています。バイオ生産を得意とする研究者とタッグを組み、特殊な微生物生産経路を構築することで高性能プラスチックの原料を得ることに成功しました。その原料を用いることで以下のような材料をこれまで開発してきました。各種論文発表のほか、イノベーションジャパンやイノベーションリーダーズサミットなどの展示会にも出展、参加し積極的に用途探索をしています。

- 1) 高耐熱を示すポリイミドを開発、構造的特徴を生かして水溶化にも成功
- 2) 強度に優れたポリアミドを開発

### 【今後の展望】

バイオ由来で高性能プラスチックを開発することは、バイオプラスチックの普及を大きく後押しするものと期待できます。世の中に広く普及しているプラスチックはほとんどが高耐熱、高強度を求められるものです。これらをバイオプラスチックで代替することができれば、二酸化炭素から得られた物質を長期的に使用できることになるため、大気中の二酸化炭素の削減が期待できます。さらには、バイオ由来特有の構造を利用した機能変換なども可能であることから、今後は新たな機能を付与した材料の開発を目指しています。

### ※用語解説

1. 高性能樹脂：ポリイミドはイミド結合およびベンゼンからなり非常に高い耐熱性を示すことから電子部品やスペースシャトルなどに利用される。ポリアミドはアミド結合を有しナイロンやアラミドのように強度や柔軟性に優れることから、繊維全般から自動車用の樹脂材料などに利用される。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 高田健司（高分子化学）

TEL 023-26-3754 メール takadak@yz.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）3月13日

## 伊藤浩志教授が米国プラスチック技術者協会（Society of Plastic Engineers）よりフェローの称号を授与されました！

### 【本件のポイント】

- 伊藤浩志教授（大学院有機材料システム研究科長、工学部副学部長、山形大学理事特別補佐）が2025年3月5日に行われたSociety of Plastic Engineersの年次大会（annual technical Conference; ANTEC）のHonors & Awards Recognition Luncheonで、フェローの称号を授与されました。
- 山形大学では初めての受賞で、日本人では4人目の快挙。
- 伊藤教授は、2007年から2015年までSPE国際評議員、2018年から2024年までSPE日本支部の支部長も歴任しました。



### 【概要】

伊藤浩志教授は、2025 SPE ANTEC 会議（2025/3/4-3/6、米国フィラデルフィア）において、プラスチック技術者協会のフェローに選出されました。1984年にSPEのフェロー・オブ・ザ・ソサエティが設立されて以来、368名の会員がこの名誉ある称号を授与されており、日本人として4人目の快挙。山形大学としては初の受賞となります。

フェローは、プラスチック工学の分野において、発明家であること、新しいコンセプトやプロセスのイノベーションを開発または実施したこと、これらの取り組みにおいて、世界的リーダーとして認められたこと、卓越した業績を示したこと等、ごく限られたSPE会員に与えられる栄誉であり、伊藤教授は、同学会の工業特性・物性研究部門（Engineering Properties and Structure Division）から推薦され、受賞に至りました。

### 【受賞理由】

伊藤教授の研究分野は、実験的および理論的研究を通じて、プラスチック成形加工に関する高分子材料の高次構造の形成を解明し、制御することである。研究プロジェクトは、様々な成形加工分野をカバーしており、この分野における伊藤教授の革新的な研究は、ポリマーブレンドおよび複合材料の創製から、精密で高度な加工技術の基礎研究と非常に幅広い内容であり高く評価できる。伊藤教授は、これまで多くの賞と評価を獲得しており、1994年以来、国際学術雑誌に190を超える論文、34報の成書・解説を公表し、特許は20以上を取得し、さらに、招待講演数は55以上とこの分野でのフロントランナーとして活躍しており、SPEのフェローに値すると判断された。

### 【プラスチック技術者協会とは】

プラスチック技術者協会は、1942年にプラスチック技術者協会として設立された。世界最大のプラスチックの学協会であり、世界84カ国、60,000人以上関係者を擁し、世界中のプラスチックの専門家と結束させ、ネットワーク、イベント、トレーニング、知識の共有を通じて、メンバーの成功とスキルの強化を支援している。2018年、SPEは「Inspiring Plastics Professionals（プラスチックのプロフェッショナルを鼓舞する）」というキャッチフレーズのもと、業界すべてのプラスチックの専門家（技術者、研究者、教育者、学生他）に最新情報や連携の場を提供している。

<https://www.4spe.org/i4a/pages/index.cfm?pageid=3274>

お問い合わせ

工学部総務課広報室

TEL 0238-26-3005

メール [yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

### 【SPE-Fellow（フェロー）とは】

SPEフェローは、プラスチック工学、科学／技術、またはそれらの活動の管理分野において顕著な貢献をしたSPE会員を表彰するプログラムであり、プラスチック工学の分野において、発明家であること、新しいコンセプトやプロセスのイノベーションを開発または実施したこと、これらの取り組みにおいて、世界的リーダーとして認められたこと等、卓越した業績を示したごく限られたSPE会員に与えられる栄誉である。

候補者は、SPE 支部、技術部会、またはスペシャル・インタレスト・グループによって推薦され、その専門的業績と、少なくとも 2 名の SPE 会員からの書面による推薦に基づき、フェロー選出委員会によって選出される。

1984 年に SPE のフェロー・オブ・ザ・ソサエティが設立されて以来、368 名の会員がこの名誉ある称号を授与されている。（40年間で日本人として4人目の受賞）

2025年の受賞者は3名。

<https://4spe.org/i4a/pages/index.cfm?pageID=9261>

<通知事項>

## 伊藤浩志教授が令和6年度山形県卓越技能者等表彰を 授与されました！

### 【本件のポイント】

- 伊藤浩志教授（大学院有機材料システム研究科長、工学部副学部長、山形大学理事特別補佐）が2025年3月11日に山形県庁において、令和6年度山形県卓越技能者等表彰を授与されました。
- 山形県卓越技能者等表彰は、優秀な技能者、職業能力開発や技能競技大会等で功労のあった方などを表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気運を浸透させることをもって技能水準の向上及び職業能力開発の重要性の認識の醸成を図るものです。
- 伊藤教授は職業能力開発関係／技能検定関係功労者での受賞となりました。





# 米国プラスチック技術者協会 (Society of Plastic Engineers)よりフェローの 称号をいただきました



大学院有機材料システム研究科長  
工学部副学部長  
山形大学理事特別補佐

## 伊藤浩志



2025年3月5日に行われたSociety of Plastic Engineersの年次大会(annual technical Conference; ANTEC)の Honors & Awards Recognition Luncheonで、フェローの称号を授与されました。

山形大学では初めての受賞で、日本人では4人目の快挙。

2007年から2015年までSPE国際評議員、2018年から2024年までSPE日本支部の支部長も歴任しました。

# 授賞理由

伊藤教授の研究分野は、実験的および理論的研究を通じて、プラスチック成形加工に関する高分子材料の高次構造の形成を解明し、制御することである。研究プロジェクトは、様々な成形加工分野をカバーしており、この分野における伊藤教授の革新的な研究は、ポリマーブレンドおよび複合材料の創製から、精密で高度な加工技術の基礎研究と非常に幅広い内容であり高く評価できる。

伊藤教授は、これまで多くの賞と評価を獲得しており、1994年以来、国際学術雑誌に190を超える論文、34報の成書・解説を公表し、特許は20以上を取得し、さらに、招待講演数は55以上とこの分野でのフロントランナーとして活躍しており、SPEのフェローに値すると判断された。

(通知事項)

# 令和6年度山形県卓越 技能者等表彰を授与 されました！

【表彰式】

日時: 令和7年3月11日(火)14時

場所: 山形県庁

受賞区分: 職業能力開発関係／技能検定関係功労者



令和7年（2025年）3月13日

## スノーボード競技への挑戦 ～更なる高みへ～

### 【本件のポイント】

- 令和7年1月から3月にかけて、複数の公式大会に出場し入賞  
第20回全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会では準優勝
- 競技活動と並行して、スノーボードテクニカル競技の普及活動  
にも力を入れる
- SNSを通じたスノーボードの魅力発信を行い、地元のスキー場や  
スノーボードショップの活性化を目指す



### 【概要】

今年は、第22回全日本スノーボード技術選手権大会 南東北合同三県予選、第32回JSBA全日本テクニカル選手権 東北地区大会、第20回全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会、第22回全日本スノーボード技術選手権大会の4つの公式戦に出場しました。特に全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会では準優勝し、大学生・専門学生の中で全国2位という結果を残すことができました。一方で、目標としていた全日本スノーボード技術選手権大会での10位以内入賞には届かず、35位という結果に終わりました。この悔しさを糧に、来年こそは10位以内入賞を果たせるよう、残りのシーズンも練習に励んでいきます。また、SNSを通じてスノーボードの動画を発信する活動も行っており、スノーボードの魅力を多くの人に伝えることにも力を入れています。今後も技術を磨き、競技成績の向上を目指すとともに、こうした活動を通じて地元のスキー場やスノーボードショップを盛り上げていきたいです。

### 【主な成績】

令和7年

1月19日

第22回全日本スノーボード技術選手権大会南東北三県合同予選  
フリースタイル男子の部 優勝

1月24日

第32回JSBA全日本スノーボードテクニカル選手権東北地区大会  
フリースタイル男子の部 3位

2月1日

第20回全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会  
フリースタイル男子の部 準優勝

2月28日～3月2日

第22回全日本スノーボード技術選手権大会  
フリースタイル男子の部 35位



お問い合わせ

米沢キャンパス事務部総務課企画総務担当

TEL 0238-26-3005 メール [yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

# スノーボード競技への挑戦

～さらなる高みへ～



# 自己紹介

- 名前：高梨晟嘉
- 所属：山形大学工学部機械システム工学科 2 年
- 所属shop：ZEIAL SNOWBOARD SHOP
- 所属クラブ：スノークラブ山形
- スノーボード歴：11年
- 競技歴：3年
- ホームゲレンデ：米沢スキー場、天元台高原スキー場、  
白鷹町宮スキー場、蔵王温泉スキー場

# スノーボードテクニカル競技とは？

- 主にカービングターンを中心とした滑りで競う大会です。スタートからゴールまで滑り、その技術に基づいて点数がつけられます。
- 地区大会では3種目、全日本大会では6種目の合計得点で競います。
- 点数は、主に3審3採、5審5採、5審3採の方式でつけられます。
  - ⇒ 3審3採/5審5採：ジャッジがつけた全ての点数を採用し、その合計で競う方式。
  - ⇒ 5審3採：最も高い点数と最も低い点数を除外し、残りの3人の得点を採用する方式。

# ミドルターン

- ・ ターンサイズ：約8～10m
- ・ 求められる滑り：スピードとキレを活かした内外力の調和の取れたカービングターン



# ショートターン

- ・ターンの特徴：斜面変化に左右されず、雪面グリップと均等なリズムでカービング

- ・求められる滑り：しっかりとした雪面グリップと均等なリズムのカービング  
ショートターン



# フリーラン

- ・流れの良い演技構成：スムーズなライン取りとリズムのある滑り
- ・スピード感とターンの質：ターンスピードがあり、内外力の調和が取れている
- ・トリックの一体感：滑りの流れを途切れさせず、自然に組み込まれている



# 大会成績

- 第22回全日本スノーボード技術選手権大会南東北三県合同予選  
フリースタイル男子の部 **優勝**
- 第32回JSBA全日本スノーボードテクニカル選手権東北地区大会  
フリースタイル男子の部 **3位**
- 第20回全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会  
フリースタイル男子の部 **準優勝**
- 第22回全日本スノーボード技術選手権大会  
フリースタイル男子の部 **35位**



# 最後に

- SNSを通じてスノーボードの動画を発信する活動も行っており、スノーボードの魅力を多くの人に伝えることにも力を入れています。今後も技術を磨き、競技成績の向上を目指すと同時に、こうした活動を通じて地元のスキー場やスノーボードショップを盛り上げていきたいです！



ご清聴ありがとうございました。

令和7年（2025年）3月13日

## 食堂がリニューアルオープンいたします ～素早く温かい食事と憩いの空間を提供します～

### 【本件のポイント】

- 4月4日(金)より新しくなった食堂の営業を開始いたします。
- お昼休みを中心に待ち時間の短縮を図り「時間内にしっかり食べる」環境を提供いたします。
- お昼休み後の時間帯は憩いの空間を提供いたします。



### 【概要】

山形大学生協工学部食堂は山形大学の福利厚生施設改修の一環で内外装を約 30 年ぶりにリニューアルをし、4 月 4 日(金)より営業を開始いたします。工事期間中は仮店舗のご利用にご協力いただきありがとうございます。本施設改修は学生教職員の皆さまにより有意義なキャンパスライフを過ごしていただけるよう山形大学に主導いただき、山形大学生協も厨房機器導入など協力させていただきました。皆さまのご利用をお待ちしております。

### 【3つのコンセプト】

- 限られた時間に素早く満足感のある食事の提供をし切れる環境を提供します
  - 多くの方の昼休み時間となる 12:00～13:00 を中心に、「時間内にしっかり食べる」に応えます。旧食堂では 1 列に並んでいた待機列を、ご利用の多い時間帯は「カフェテリア」「丼」「麺」の 3 列に分けることで待ち時間の短縮を図ります。座席数につきましても 2 人席を大幅に増やし着席しやすくしつつ、従来の 300 席から 13 席増加した 313 席を用意いたします。
- 栄養バランスの取れた手ごろでおいしい食事を提供します
  - 温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、適温提供での提供を原則に、ご利用の多い時間帯でも野菜が取れる導線として栄養バランスへの配慮をいたします。
- ご利用の多い時間帯以外はこころとからだを休める憩いの空間を提供します
  - 昼休み後の時間帯は学生教職員の皆さまが気軽に滞在できるスペースとして空き席を自由にご利用いただけるようにいたします。一部座席にはコンセントも設置いたします。

### 【店舗愛称について】

新食堂オープンに合わせて大学生協組合員より店舗愛称を募集し、合計 131 件の応募の中から選考の結果、大学院理工学研究科 1 年生考案の「techC(テック)」を愛称として採用いたしました。工学の意味を持つ「technology」に、利用者が組み合わせを選択できるようにした形式の食堂の意味を持つ「cafeteria」の頭文字「C」を組み合わせたもので、誰でも覚えてもらえるように短く響きの良い読み方にしつつ、楽しい時も辛い時も食堂にテクテク行けるようにという意味が込められています。

**techC**  
YAMAGATA UNIV. COOP

### 【営業時間】

- 4月4日(金)から9日(水)まで(短縮営業)・・・11:30～13:30(ラストオーダー13:15)
  - 4月10日(木)から(通常営業)・・・10:15～15:00(ラストオーダー14:45) 16:00～18:30(ラストオーダー18:15)
- ※ご利用の多い時間帯(11:30～12:30)以外は学外の方もご利用いただけます  
※以降の営業時間につきましては山形大学生協ホームページをご参照ください。

### 【オープニングセレモニーについて】

- 4月7日(月)の 11:15 からオープニングセレモニーを開催いたします。テープカットを実施のうえで新食堂の発表を祝います。セレモニー参加特典として「カツカレー中⇒大サイズ変更無料券」を配布いたします。またこの日より開店記念として先着 1,000 名にシュークリームのプレゼントを実施いたします。

お問い合わせ



UNIV.  
CO-OP

山形大学生協生活協同組合

YAMAGATA University Co-operative

山形大学生協生活協同組合 工学部食堂 TEL 0238-23-6283

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関  
(参考資料：3月4日時点での内外装の様子)



2025（令和7）年3月3日

報道関係者各位

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

【取材のご案内】

2025年日本国際博覧会

小山薫堂テーマ事業プロデューサー シグネチャーパビリオン

「EARTH MART」メディア内覧会

いのちの生産者、星付きシェフ、フードテックまで、  
多様な食の担い手と展開する全コンテンツを初公開



公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は2025年3月18日（火）、小山薫堂テーマ事業プロデューサーのシグネチャーパビリオン「EARTH MART」のメディア内覧会を下記のとおり開催します。

当日は、小山プロデューサーがパビリオンを通じて伝えたい思いを語るとともに、多岐にわたるコンテンツの企画制作にあたり、ご参加いただいた多様なパートナーの方々のご紹介。そして初公開のパビリオン全体をご取材いただけます。

ご多忙の折とは存じますが、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

## 記

1. 日時 2025年3月18日(火) 11:00~13:00 (10:30 夢洲駅に集合)

2. 場所 大阪・関西万博 小山薫堂プロデューサー シグネチャーパビリオン「EARTH MART」

3. プログラム(予定) ※当日の内容は変更となる場合があります。

### ●10:30 夢洲駅 集合

※受付場所は Osaka Metro 中央線「夢洲駅」地上出口付近です。外周道路フェンス側にお集まりください。博覧会協会職員が皆さまにサイトアクセスパスをお配りします。お手洗いは駅構内にしかございませんので、事前にお手洗いを済ませの上、お集まりください。

※夢洲駅からパビリオン会場には徒歩で移動します。徒歩 15 分程度です。(自家用車・社用車等での乗り入れ・送迎等はできませんのでご注意ください。)

※移動手段および取材スペースの関係上、最小限の人数でのご取材をお願いします。1 社複数名・複数のクルーでの取材を希望される場合、各社内にて調整をお願いする場合があります。予めご了承ください。

※現場の作業状況により、取材時間が予定より遅れる可能性があります。

### ●11:00~11:40 概要説明

◎小山薫堂プロデューサー挨拶

◎コンセプト、各コンテンツ説明

◎多様なコラボレーションの紹介

### ●11:40~13:00 展示体験

小山プロデューサーによる展示ツアー、自由内覧

EARTH MART にある4つのエリア「プロローグ」、食がいのちであることを見つめ直す「いのちの売り場」、新しい食べ方のヒントに出会う「みらいの売場」、「エピローグ」を取材いただけます。

※展示ツアー終了後、小山プロデューサーへの囲み取材の時間を設けます。

※囲み取材後は、小山プロデューサーへの個別取材を受け付けますので、ご希望の方はお申し込みください。

## 4. 持ち物

◎自社腕章または社員(記者)証

※ヘルメットは不要です。

## 5. 取材要領

・受付は夢洲駅1号出入口付近で行います。なお、名刺の持参がない場合は、取材いただけないことがあります。

※夢洲駅への自家用車(社用車)乗り入れはできません。必ず大阪メトロをご利用ください。

※サイトアクセスパスは取材終了時に必ずご返却が必要です。

※夢洲会場内は集団行動となります。取材の途中で退席することはできません。

緊急の場合は、協会広報職員にご相談ください。

- ・工事作業中の作業員の撮影はご遠慮ください。
- ・取材に際しては所定の位置にて行っていただき、自社腕章または社員（記者）証のいずれかを着用してください。腕章等の着用がない場合は、取材いただけないことがあります。
- ・上記のほか、取材に際しては職員の誘導に従ってください。
- ・取材要領に抵触する場合、そのほか相当と認めた場合には、取材の中止等の一部制限を求めることがあります。
- ・撮影は指定エリアからお願いいたします。指定エリア外や移動中の撮影はご遠慮ください。
- ・視察会場内での飲食は禁止としますが、水分補給等は各自飲料を持参の上、ご参加ください。
- ・ライブ配信、インターネット生中継などは禁止となります。

## 6. 出席のお申し込み方法（申し込み〆切 2025年3月17日（月）12:00）

申し込みは下記リンクより、フォーム回答のうえお答えください



<https://forms.gle/pvugc5BoetbswLkW7>

【メールで申し込みの場合 送付先：[info@expo2025earthmart.jp](mailto:info@expo2025earthmart.jp)】

以下の内容をメール本文に記載のうえ、EARTH MART 事務局宛にお送りください。

- ・社名（媒体名）
- ・所属、役職
- ・所属記者クラブ名（記者クラブに所属している場合）
- ・氏名（フルネーム）
- ・参加人数
- ・ムービーカメラ／スチールカメラの持ち込み台数
- ・電話番号（当日連絡のつく携帯電話など）
- ・メールアドレス
- ・内覧会后、小山薫堂プロデューサーに個別取材が可能です。  
ご希望の場合は、ご希望する内容を具体的にお書きください

（万博に関する問い合わせ先）

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 広報部  
TEL：06-6625-8654（大阪）／03-6265-4687（東京）

（EARTH MARTに関する問い合わせ先）

EARTH MART 事務局  
[info@expo2025earthmart.jp](mailto:info@expo2025earthmart.jp)

以下、情報解禁  
3月18日 13:00

(別紙)

## ●EARTH MART のご紹介

「EARTH MART」とは、食といのちの循環に触れ、未来へのヒントと出会う空想のスーパーマーケットです。買い物するような感覚でワクワクしながら、これまで当たり前だと思っていたことをリセットし、新しい食べ方と向き合う様々な体験が散りばめられています。伝統、文化、社会課題、テクノロジー・・・食の現在をニュートラルに見つめ直し、食べることの喜びと、私たちが次の時代にいのちをつむいでゆくヒントを探す旅に誘います。



食をはぐくみ、ひとが賑わう、茅葺のパビリオン



プロローグ

## ■食がいのちであることを見つめ直す「いのちの売り場」

いのちの売り場では、まるでスーパーマーケットで買い物するような感覚でワクワクしながら、これまで当たり前だと思っていたことをリセットし、新しい食べ方と向き合う様々な体験が散りばめられています。



いのちの色



野菜のいのち

花も、実も、葉も、茎も、根も、  
野菜が新しい種をつくるためにある。



いちばん食べられる魚

地球でいちばん食べられている「イワシ」は地球でいちばん多くのいのちを支えています。「イワシ（鰯）」という字は「弱い魚」と書けけれど、実は一番強いいのちかもしれません。



家畜という名のいのち

ひとが食べるために育てるいのち。  
つまり、わたしたちが生きるために生まれてくるいのち。



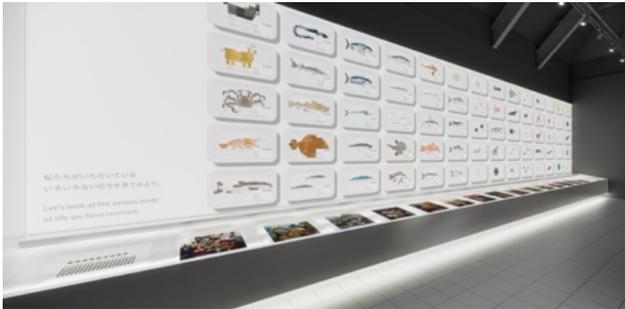
### 一生分のたまご

日本人ひとりが一生で食べる卵の数は、約 28,000 個。  
その量は世界トップクラスで年間 300 個以上を  
消費し続けています。



### いのちのはかり

食べ物の重さをはかるための「はかり」ではありません。  
いのちの重さを感じるための「はかり」です。



### 世界の食卓

わたしたちは、世界の人々が何を食べているか、実はあまり  
知りません。食を知ることが、その人を知り手がかりとなります。



### いのちのカート

大きないのちのカート。ねぶたでつくられたこのカートには、  
日本人が食べる約 10 年分の食材が入ります。



### いのちのレジ

わたしたちは、わたしたちがいただいた、いのちでできています。

### 世界のレシート

世界に実在する、一週間分の家族の食糧。  
データや数字からでは読み取れない、本当の人々の暮らしが  
見えてきます。

## ■新しい食べ方のヒントに出会う「みらいの売場」

みらいの売場では、日本が育んできた伝統、文化、テクノロジー、さまざまな視点から未来に残したい「食べ方」を散りばめながら、食べることの喜びと、私たちが次の時代に「いのち」をつむいでゆくヒントを探す旅に誘います。



### 未来を見つめる鮭屋

鮭職人×フードテクノロジー  
伝統と革新が融合することで、食の未来が見えてきます。



### 進化する冷凍食

あらゆる食材を凍結粉碎してパウダー化。  
それは食の新たな可能性を広げます。



### 味を記憶し、再現できるキッチン

世界中で調理過程のデータが共有される未来。  
料理の楽しさも、技術も、文化も記憶され、時空を超えてゆく。



### みんなが幸せになる未来のお菓子

子どもたちが思い描いた未来のお菓子を集めました。  
この中に、みんながもっと幸せになるヒントが見つかるかもしれません。



### EARTH FOODS

食の未来をより良くするために  
世界に共有したい日本発の食の知恵。



### UMEBOSHI ~BANPAKU-ZUKE~ 2025→2050

ここで作る梅干し「万博漬け」。  
ただし樽を開けるのは2050年。  
いわば「食のタイムカプセル」です。  
2025年の思い出を、あなたは誰と共有しますか？



### エピローグ

# 令和6年度 山形大学学位記授与式(米沢地区)

日時: 令和7年3月20日(木)午前11時00分開式  
場所: 米沢市営体育館(米沢市金池3-1-62)

## 概要

### ●父母等用駐車場

米沢市役所駐車場  
米沢市営体育館東側駐車場  
JA山形おきたま米沢支店駐車場

### ●学生用駐車場(米沢キャンパス)

南駐車場  
林泉寺駐車場

※駐車場の詳細は工学部ホームページで確認してください。  
※工学部からのシャトルバスを利用願います。

**※父母等駐車場には止めないでください。**

### ●シャトルバス

当日は工学部(正門周辺)と米沢市営体育館(駐車場)の間でシャトルバスの運行を実施します。

工学部→米沢市営体育館 9:30~10:30  
米沢市営体育館→工学部 式典終了後~13:00

### ●その他・留意事項

- ・例年、会場入口での記念撮影が大変混雑します。写真撮影をされる方は**早めに会場にお越しください**。開式時間を過ぎた場合は撮影を中止していただく場合があります。
- ・式典終了後の学部全体での謝恩会はございません。
- ・当日、**体調不良(発熱、咳、鼻水、のどの痛み等)**がみられる場合は、**参加を見送ってください**。
- ・会場での**飲食(飲み物も含む)**を**禁止**とします。
- ・会場内では、係員の指示に従ってください。

詳細は工学部ホームページで確認してください。  
(<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>)



【2025年度 工学部学部長記者懇談会開催予定】

4月10日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
5月22日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
6月19日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
7月10日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
8月21日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
9月4日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
10月9日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
11月13日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
12月11日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
1月15日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
2月12日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)
3月12日(木)	10:30~12:00 (100周年記念会館)